

当院は下記の調査を実施しています

記

課題名；本邦における小児患者の麻酔における気管チューブ管理の実態および意識に関する調査

調査の目的、意義；

私達麻酔科医は全身麻酔の時に、年齢に合わせた細いチューブ（気管チューブ）を喉から気管に挿入し、気道確保を行っています。このチューブは麻酔中の人工呼吸のための大切なチューブですが、様々な太さや種類があります。わが国において、麻酔科医が小児患者にどのチューブを使用して麻酔管理をしているかという全国調査は今まで行なわれたことがありません。そこで、日本小児麻酔学会の専門医（評議員）のいる施設において、麻酔中に使用されている気管チューブの調査研究を行うことになりました。

この調査では麻酔中の気管挿管チューブに関する調査を行うことが主目的であり、診療そのものに全く変わりはありませんし、ご負担もおかけしません。また診療録(カルテ)の内容を使用させていただきますが、患者さん個人情報には厳重に管理され、個人が特定されることはないように配慮いたしております。

調査の方法；

平成 28 年 7 月 4 日（月）から 7 月 17 日（日）までに、当院で、全身麻酔のために、麻酔科医が気管挿管した、体重 2.5kg 以上で 8 歳まで（9 歳未満）の患者さんの＜年齢、体重、手術の分類、挿管チューブの種類、サイズ、挿入長、カフ付の場合はカフ圧、容量、抜管後の合併症、咽頭痛＞を調査いたします。

調査項目；

年齢、体重、手術の分類、挿管チューブの種類、サイズ、挿入長、カフ付の場合はカフ圧、容量、抜管後の合併症、咽頭痛

*患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象で

はなく、個人情報 は保守されます。

調査実施機関；

国立成育医療研究センター、自治医科大学とちぎ子ども医療センター（栃木）、岡山大学（岡山）、京都府立医大（京都）、兵庫県立こども病院（兵庫）北野病院（大阪）他、全国の小児麻酔学会評議員のいる施設

この調査は北野病院「医の倫理委員会」で承認され、病院長の許可を得て行なわれます。

*調査への参加を希望しない場合には、お手数ですが、下記の調査責任者へご連絡下さい。

調査責任者；公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
麻酔科医師 黒寄明子
TEL;06-6312-1221